

グループホームなごみ

自己評価・外部評価・運営推進会議用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	基本理念を休憩室に掲示し、いつでも確認できるようにしている。ミーティング時には日々のサービスに反映し、理念に基づいたケアを行っているか確認している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	小学校の清掃活動の参加や、小学生の下校に合わせて、見守り活動を利用者と共に行っている。また、校下の防犯パトロール隊として、防犯活動にも参加している。「地域交流室」を住民の交流の場として提供している。	コロナ禍で活動の制限はあるも、可能な限り参加に努めた。 施設として職員と利用者と共に清掃活動や小学生の見守り活動を行い、地域住民の一員として活動をした。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍で開催の回数は限られているが、活動や課題の報告・意見交換を行っている。話し合われた内容やご意見は運営の指針とさせていただいている。	コロナ禍で開催の回数は限られているが、活動や課題の報告・意見交換を行っている。 今回のように皆さんと外部評価をすることによってサービスの見直しもできている。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議には地域包括支援センターの職員に出席いただき、連携を図っている。分からないことがあれば広田包括・長寿福祉課に質問するようにしている。	運営推進会議には地域包括支援センターの職員に出席いただき、連携を図っている。分からないことがあれば広田包括・長寿福祉課に質問するようにしている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設全体で『身体拘束をしない介護』を実践している。カンファレンス時には身体拘束について話し合い職員が正しく『身体拘束をしない介護』を理解している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者や職員は施設内で虐待が無いように状態の変化を見守っている。施設内では、不適切ケアの防止に向けて研修をおこなったり職員同士が声を掛け合ったりして防止に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今まで成年後見人制度を利用されるご家族がいない為職員の理解は低い。今後、必要となる方が増えていくことが予測されるので学んでいく必要がある。			
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前に料金や契約の内容を説明し家族の納得の上で契約を行っている。同時に重症化した場合のことや、医療面での相談も受けている。料金改正時にはその都度、家族に内容を説明している。長期利用の方については、今後の経済的なことの話合いも行っている。			
9	運営に関する利用者、 家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時家族からの要望や意見を聞き、2か月毎に市の相談員を受け入れ（現在はコロナの状況にて変更）、利用者からの意見や要望に対して迅速に対応している。また、玄関前には『ご意見箱』を設置している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月カンファレンス時に話せる環境や相談しやすい雰囲気づくりに努めている。希望者は随時面談できるようになっている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見交換を頻回に行う事で職員の意見を早期に反映し、働き甲斐のある職場づくりを心掛けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	経験に応じた外部研修に参加する機会を作り、研修参加者が他の職員に研修内容をレクチャーし知識や技術の向上に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム連絡協議会に参加し外部研修・勉強会の場を通じてサービスの質の向上に努めている。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. <input checked="" type="radio"/> ほとんどできていない	本人の出来ることを見つけ一緒に洗濯もの量や調理・配膳等を行い、役割を作ることで関係を築いている。また、本人が孤独を感じないように寄り添う時間を大切にしている。			
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、外出や家族・知人との直接の面会の機会は減っているが、ビデオで面会や定期的に電話で家族に状態を報告し、またLINE登録でのやりとり等関係継続の支援を行っている。	家族との対面での面会は可能となっている。かかりつけ医に受診後、自宅にて半日過したり、馴染の美容院に行ったりと馴染の人との関りを切れないうに取組んでいる。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時ご本人・家族への聞き取りで情報を得るとともに日々のコミュニケーションを通じて得られた些細な言動を記録し一人ひとりの思いや意向を職員間で共有し把握している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. <input checked="" type="radio"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月に1回のカンファレンスには職員全員が参加し利用者一人ひとりの様子の意見交換を行い、ケアの統一を図っている。また、定期外にも状況の変化に合わせてカンファレンスを行い、介護計画を見直し、職員が共有している。	カンファレンスでは利用者一人ひとりの様子の意見交換を行い、ケアの統一に努めている。状況の変化があり次第に意見交換を行い、介護計画を見直しと共有に努めている。	A. <input checked="" type="radio"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. <input checked="" type="radio"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の変化や細かな気づきを記録し、職員間で共有するとともに話し合い、介護計画の見直しに活かしている。		A. <input checked="" type="radio"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. <input checked="" type="radio"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者やご家族の希望や、利用者の状態に変化があれば変化に合わせた対応を検討し、支援できるように努めている。	普段からご家族との関りを細め取るように努め、その時々生まれるニーズを掴み、大切にして柔軟な支援やサービスに反映できるように努めている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. <input checked="" type="radio"/> ほとんどできていない	以前は地元の小学生や地域のボランティアの訪問受け入れを行っていたが、コロナ禍の為、現在は中断している。外部と触れあう機会も減少している。	職員の自己評価がほとんどできていないが多くなっているが、グループ利用者の中で地域包括支援センターと協力して、成年後見人制度の活用を検討している。これも地域の資源の協働にあたるが、職員の間で把握できていないことがある。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居後もかかりつけ医での、継続的な医療が受けられるよう支援している。受診時には日ごろの利用者の体調の情報を文章や記録物で家族や医師に伝え、スムーズに受診できるよう努めている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者が入院した際、本人やご家族の思いを尊重し、安心して過ごせるよう支援情報を地域連携室に提供し、入院中の経過や退院に向けての情報も連絡を取り合いながら行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に『重症化した看取り指針』の説明を行い、事業所が対応しうるケアについて説明している。終末期の在り方については、ご本人・家族・主治医と十分に話し合いながら方針を共有し、『看取り』の希望があれば対応していきたい。(事例なし)		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	現在グループでは数名の看取りを希望されている利用者があるが、今まで看取りの事例がなく職員もどのように取り組めばいいかが分からない。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	緊急時マニュアルを設置している。利用者の事故や急変時には慌てず適切な行動がとれるよう定期的に救命救急の講習を受けていきたい。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	災害事故発生対応マニュアルを基に地域の防災士の方と共に定期的に避難訓練を行っている。また、施設は、福祉避難所として富山市に登録されており、地域の避難場所となっている。	停電時の対応として、現在は非常灯等の必要最低限の電源はあるものの、冷暖房等の電源はなく課題となる。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	研修やミーティング時に、プライバシーを損ねない配慮の仕方についての話し合いの場を設けている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	基本的な1日の流れはあるが、利用者の入居前の生活の流れを尊重し、個人のペースや体調・意向に合わせて生活できるように支援している。			

28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員と一緒に味噌汁やご飯を準備したり盛り付け・片付けを手伝ったりしていただいている。また、普段から季節に合わせたおやつ作りを一緒に行っている。食事形態もミキサー食・刻み食など状態や体調に対応している。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事量や水分量は毎食チェックしており、食欲低下や体重減少に注意を払っている。利用者の状態に合わせて臨機応変に食事形態を工夫している。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎食後口腔ケアを行いこのレベルに応じた介助や援助を行っている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の排泄のパターンを把握することで、尿意のサインを見極め、時間を見計らって誘導を行うなど、出来るだけトイレで排泄出来るよう個別援助に努めている。排便に関しても、水分・運動に心がけ自然な排便につながるよう支援している。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者同士と一緒に会話しながら楽しんで入浴されているので、同一の日にちに設定している。利用者の気分や体調によっては時間を変更し、浴槽の種類を変更する等、個々に沿った支援をしている。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の部屋での生活に制限をかけることなく、自由に休息したり、テレビを楽しんだりされている。フロア内にもソファが置かれており居室以外にもくつろぎの場所を作っている。		
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	薬剤情報をすぐに確認できるようにファイリングしている。処方の変更があった場合、それに伴う症状や状態の変化が現れたら細かく記録し主治医に報告している。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	1人ひとりの生活歴を把握し、趣味や得意なこと・興味のあることを生かし暮らしの中で発揮できるよう支援している。職員と一緒に野菜作りを行っており、収穫物を調理して楽しんでいる。月に一度、書道の日には、利用者の思いの言葉を書に残している。	利用者一人ひとりの生活歴や力を把握し日々の生活の中で、部屋の掃除や茶碗洗い、洗濯物などに取り組んでいただいている。 月に1~2回楽しみごととしておやつ作りなどにも取り組んでいる。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	天候に合わせてなるべく屋外へ出かける時間を作るように心がけているが、コロナ禍の為、外出や外食の機会は少なかった。	コロナ禍の為外出や外食の機会は減ったが、施設内外の外周散歩などに取り組んで、ご利用者1人ひとりのニーズに沿えるように努めている		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	現在、自己管理できる利用者はいない。ご要望に応じて対応している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者の電話を掛けたいという希望には出来る限り対応している。携帯電話を使用している方もおり、好きな時間に自由に家族や知人と連絡が取れるよう操作の補助等の支援を行っている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に馴染みの家具やアルバムや置物等を居室に入れていただくようお願いしている。必要なものがある時は家族に連絡して準備してもらっている。配置に関しては、本人・家族の意向を尊重しながら、居心地の良い空間になるよう努めている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない		
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自ら意思を発言できない方に対して本人の表情や言動から思いを感じ取り、コミュニケーションを取ることの大切さを念頭に置いて支援している。			

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族と情報交換し、現在の生活の状態に合わせた支援に努めている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日バイタル測定・排泄状態や身体の観察を行い、申し送り時に必ず職員間で確認し、その日の状態に応じたケアに努めている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前の生活歴を基に『私の一日』を作成し、睡眠・食事・運動など自分のペースで行えるように支援している。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族にお願いして居室には家で大切にしていたものの配置してもらい、本人・家族の写真をかざるなど本人の希望に沿った環境づくりを支援している。また、家で使用していたコップ等を引き続き使用してもらっている。		Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	染みの美容室へ家族と出かけたり、受診後、家族と自宅で過ごすなど限られた外出になっておりコロナ禍により外出機会が制限されているが外周散歩で気分転換できるよう努めている。	コロナも次第に落ち着きを感じ、以前のように利用者やご家族のニーズに沿えるように努めていければと考えている。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の出来ること等の情報を職員間で共有し、楽しく作業やレクリエーションが出来るように努めている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体操やレクリエーション・個別訓練などに積極的に参加してもらえよう声掛けを行っている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一部の方は、小学校 PTA 主催の清掃活動に参加し、地域の方と清掃作業を行ったが、それ以外は、あまりできていない。以前は、地域の方々に参加してもらってカラオケ喫茶を行っていたが、コロナ禍により現在は開催できていない。	歩行能力低下もあり地域活動の参加については少なくなっているが、今後、以前のように地域の方々に参加して行える活動に努めていきたいと考えている。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家庭に近い環境作りに努め、散歩等で季節を感じ、おやつ作りで匂いを感じ、常に何かを感じ、より良い日々を送ってもらえる様に努めている。	施設理念『より健康でうれしい実感できる暮らしを』を軸に利用者 1 人ひとりの以前の暮らしを大切により良い日々を送ってもらえるように努めている。	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	